

あおぞら

行方市 社協だより

No.49 2018.6.1

— 発行者 —
 社会福祉法人
 行方市社会福祉協議会
 住所 茨城県行方市玉造甲403番地
 ☎ 0299 (36) 2020
 FAX 0299 (55) 4545
 URL <http://www.yokattanet.jp>



皆さんいつも楽しみに
 待っていてくれます



もくじ

- 会長あいさつ..... 2
- いきいき長寿者紹介..... 3
- 平成 30 年度社協の事業 4
- 平成 30 年度社協の予算 5
- 福祉な声..... 6
- おしらせ..... 7
 (のびのびサポート事業 / ビックリ・発見・夏キャンプ)
- 在宅言語リハビリアドバイス事業
 善意銀行・編集後記..... 8



会長 あいさつ



社会福祉法人行方市社会福祉協議会

会長 鈴木 周也

市民の皆さまには、日頃から、行方市社会福祉協議会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

また、改めまして、去る3月1日に、島並、南、小高地区を中心に発生した突風により被害に遭われた方々に、心よりお見舞い申し上げます。

さて、近年、少子高齢化の進行に伴い、社会情勢や家族形態が大きく変化しており、個人や地域が必要とする福祉ニーズも多様化・複雑化しています。また、社会福祉法人制度や介護保険法の法的な見直しが行われ、当会を取り巻く環境も大きく変化しています。

このような中、地域社会における支え合い活動は、年々、その重要性を増しており、地域福祉の推進を使命とする社会福祉協議会に対しても大きな期待が寄せられていることから、地域の中で、いかにして、市民誰もが自分らしく普

通の生活を送ることをできるようにするかが今後の課題になっていきます。

今年度は、本市が抱える課題を踏まえた上で、「誰もがみんな ふれ合い 支え合い 助け合つまち なめがた」を基本理念とした「行方市第2期地域福祉計画・地域福祉活動計画」に基づき、市民の皆さまの視点に立った高齢者の生きがいづくり、介護予防、障がい者支援や子育て世帯の支援などを着実に進めるとともに、幅広い分野で関係団体と連携し、市民の皆さまが積極的かつ自発的に地域で活動できる仕組みづくりに努めてまいります。

今後とも、役員が一丸となって、地域に寄り添った地域福祉活動を展開してまいりますので、なお一層のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



いきいき長寿者紹介

原 新 さん 90歳 (行方市山貫)
きよ さん 91歳



4月中旬、農家の方にはお忙しい時期そして時間帯にお伺いをしてしまいました。新さん、きよさんはもちろんのこと、家族みなさんで迎えてくれました。

新さんは昭和3年生まれ、きよさんは昭和2年生まれ、きよさんは、銚田(徳宿)に生まれ、26歳の時に新さんのところへ嫁ぎ、二人で力を合わせて頑張ってきました。「さつまいもに、メロン・たばこ、忙しくて仕事中に喧嘩もたくさんしたよ。でも、逃げないでいてくれたよ。」と、冗談交じりに話してくださいました。



家族構成は

核家族化が進む中、3歳と1歳の曾孫さんを含む7人家族、昼間は二人の曾孫さんも保育園に通っているので静かだが、帰ってきたら賑やかだよと話してくれました。「昔は、一緒に外で遊んだりもしたが、子供も歩き始めるとついていくのが大変だよ!速くて、速くて」と言いながらも曾孫さんの話をしている時の表情はより一層にこやかでした。

好きな食べ物をお聞きすると、二人とも好き嫌いなく何でも食べるよと話してくれました。新さんは、特に肉が好き。昔は酒も飲んだけどね...

このあたりにも長生きの秘訣があるのかもしれない。

目標は...

寝たきりにならずに二人元気に仲よくいることと話してくれました。二人とも転倒し

て骨折などしたら大変だとすぐ自分自身気を付けられているようでした。

約一時間という取材時間の中、終始質問に答えてくださったのは旦那さまの新さんでした。きよさんは、それを優しい笑顔で聞いている。それがまた、微笑ましい光景でもありました。控えめなきよさんに対し、話し上手で社交的な新さんでした。

同席いただいたご家族から、「もっともつと元気で長生きしてほしい」と、メッセージをいただきました。

最後までこちらの質問に丁寧に答えてくださった新さん、きよさん、これからお体に気を付けて二人仲よくお過ごしください。



紙面でご紹介させていただける長寿者の方を募集しています。自薦、他薦は問いません。ご連絡をお待ちしています。

☎0299 (36) 2020 総務企画係

平成30年度 行方市社会福祉協議会事業計画

誰もが安心して暮らすことのできる地域づくりの実現に向けて住民の皆様や、行政、関係機関と連携して地域福祉の推進に取り組んで参ります。

地域福祉事業

- 地域福祉事業の推進
 - ・ 給食サービス事業
 - ・ 介護予防事業
 - (1) 元気でくさくさびす館
 - (2) 地域介護予防事業への支援
 - ・ コミュニティ活動の積極的支援
 - (1) 生活支援整備体制事業
 - (2) サロン活動立ち上げ支援
- 障害者（児）福祉事業
 - ・ ビックリ・発見・夏キャンプ
 - ・ のびのびサポート事業
 - ・ 視覚障害者用録音物配布事業
 - ・ 障害者スポーツ大会参加者支援
 - ・ こころのサロン
- 母子・父子福祉事業
 - ・ ひとり親家庭事業
 - (1) ふれあい遠足
 - (2) 新入学祝品贈呈
- 子育て支援事業
 - ・ 子育てサポート事業
 - ・ 養育支援訪問事業
- ボランティア活動の推進
 - ・ ボランティアセンターの運営強化
 - ・ ボランティア講座の実施
 - ・ ボランティアグループの育成・援助
- 福祉教育の推進
- 共同募金運動
- 歳末たすけあい運動
- 福祉関係団体の支援



相談支援事業

- 法律相談事業
- 日常生活自立支援事業

資金貸付事業

- 生活福祉資金貸付事業

在宅生活支援事業

- 福祉機器（車いす等）貸出事業
- 福祉車輻貸出事業
- 訪問歯科治療器具貸出事業
- 在宅言語リハビリアドバイザー事業
- 在宅福祉サービスセンター運営事業

広報啓発事業

- 広報紙「あおぞら」の発行
- ホームページの管理運営
- SNS等の活用

介護保険事業

- 居宅介護支援事業
- 訪問介護事業

障害者総合支援事業

- 居宅介護
- 重度訪問介護
- 同行援護
- 行動援護
- 計画相談支援
- 就労継続支援B型

地域生活支援事業

- 移動支援事業
- 地域活動支援センター

その他社会福祉関連事業

- デマンド型コミュニティバス（乗合タクシー）事業
- 福祉バスの管理運営事業

当事者団体支援事業

- 行方市ボランティア連絡協議会
- 行方市老人クラブ連合会
- 行方市身体障害者福祉協議会
- 行方市遺族会

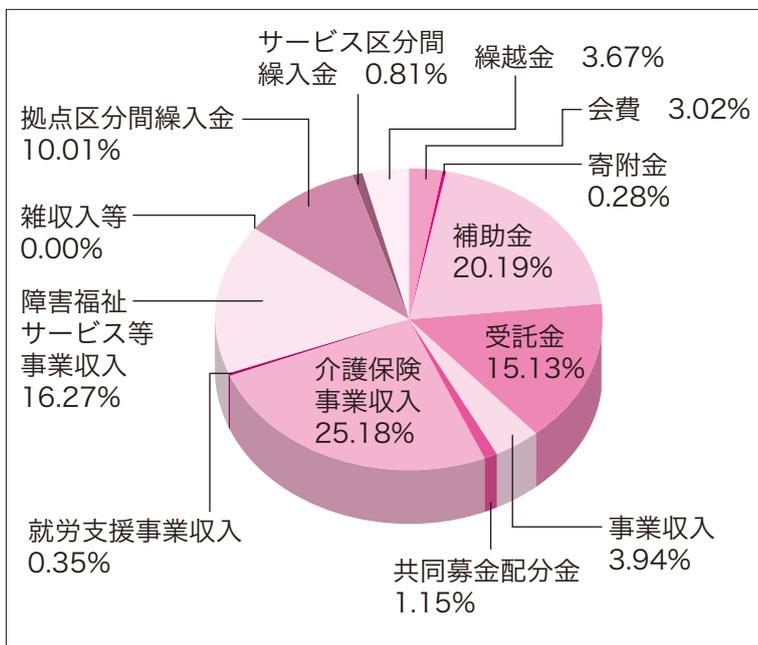


平成30年度 行方市社会福祉協議会予算

平成30年度予算は3月に行われました理事会・評議員会で議決され決定しました。住民の皆様からの会費や介護報酬のほかに市からの補助金・受託金や共同募金等を財源としており様々な福祉事業に役立てられます。

予算総額 316,096,000円

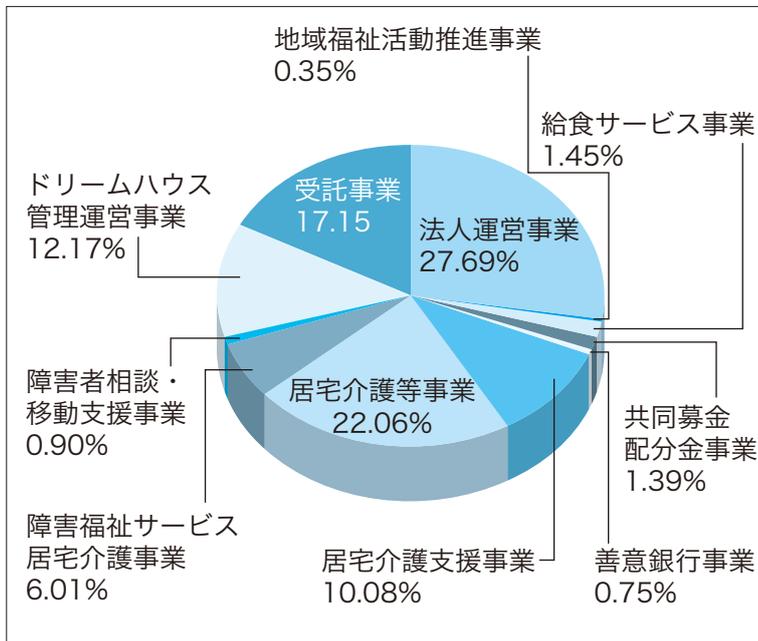
収入



(単位：千円)

会費	9,550
寄附金	881
補助金	63,808
受託金	47,817
事業収入	12,464
共同募金配分金	3,629
介護保険事業収入	79,606
就労支援事業収入	1,091
障害福祉サービス等事業収入	51,422
雑収入等	13
拠点区分間繰入金	31,655
サービス区分間繰入金	2,571
繰越金	11,589
合計	316,096

支出



(単位：千円)

法人運営事業	87,517
地域福祉活動推進事業	1,114
給食サービス事業	4,581
共同募金配分金事業	4,395
善意銀行事業	2,381
居宅介護支援事業	31,865
居宅介護等事業	69,721
障害福祉サービス居宅介護事業	19,010
障害者相談・移動支援事業	2,857
ドリームハウス管理運営事業	38,454
受託事業	54,201
合計	316,096

特別養護老人ホーム きたうら

〒311-1704 茨城県行方市山田3339-6
電話0291-35-3080

福祉な

インタビューコーナー

声

私たちの住む地域には、いくつかの介護施設があります。

特別養護老人ホームは、病気や障害などによって在宅での生活が困難とされた高齢者が、公的な介護サービスとして入居できる介護施設となっています。

今回は、特別養護老人ホーム「きたうら」で介護職に励む職員お二人にお話をお伺いしました。

左：田島さん 右：高橋さん



主な年間行事



納涼祭



運動会



家族会



姉妹施設との交流会



外出

この仕事を始めたきっかけは

祖母がデイサービスを利用して、当時の職員さんの対応がすごく良くお年寄りに楽しみを与えられる仕事ってすごいと思い、自分もその一人になればと思い選びました。(田島さん)

人とたくさん関わる仕事をしてみたかった。また、お年寄りを精神的に支えたかった。(高橋さん)

日々の仕事の内容

排泄ケア・入浴介助・食事介助・レクリエーション・コミュニケーションなど、お年寄りの方が、なるべく普通の生活ができるようお手伝いさせていただくこと。(田島さん・高橋さん)

心掛けていること、やりがいや魅力

入居者の方は、毎日同じということではなく難しい仕事だと思いますが、毎日同じ仕事じゃないからこそ魅力があると思います。(田島さん)

一人一人に寄り添いその方にあった介助を心掛けています。利用者の笑顔や「ありがとう」という言葉に支えられています。(高橋さん)

「きたうら」は、毎月、行事担当職員が決まっており色々な行事を開催しています。

日々、入居者の方と職員が楽しみを共有できる施設になれるよう職員皆さん頑張っているそうです。

今回お忙しい中インタビューにお答えいただきました職員お二人、そして「きたうら」の皆さまありがとうございました。これからもますますのご活躍をご期待申し上げます。





参加者募集!!

～のびのびサポート事業～

みんなで夏の楽しい思い出を作りましょう!



昨年度の様子

日 時	7月24日(火)	7月25日(水)	7月27日(金)	7月31日(火)	8月1日(水)	8月3日(金)	8月7日(火)	8月16日(木)	8月17日(金)	8月21日(火)
午前	小麦粉ねんどを作って遊ぼう	自由遊び	ミュージックケア	かき氷作り ベトナムで買い物	電車に乗ろう	カンマ スタジアム見学	おやつ作り	ミュージック ケア		ミュージック ケア
お昼	昼食・休憩	昼食・休憩	昼食・休憩	昼食・休憩	潮騒はまなす 公園 昼食・休憩	昼食・休憩	昼食・休憩	昼食・休憩	みんなで外食 日帰り遠足	昼食・休憩
午後	プール(B&G)	おやつ作り	自由遊び	プール(B&G)	自由遊び	鹿島灘海浜 公園	プール(B&G)	なめがた ファーマーズ ヴィレッジ		プール(B&G)

午前9時から午後4時まで

対象者 市内在住で特別支援学校等に通学している児童・生徒
※処遇することが困難な医療を要する方を除く

定員 10名程度

場所 行方市玉造保健センター

参加費 1日あたり1,000円(その他、施設利用料などがかかる場合は別途お知らせします)

申込方法 平成30年6月15日(金)までに下記連絡先へご連絡下さい。

☆例年参加のかたも初めてののかたも申込お待ちしております!

☆のびのびサポート事業への協力可能な方もぜひご相談下さい!

※申込人数等により、内容が変更となる場合がございます。



ビックリ・発見・夏キャンプ 参加者募集

白浜少年自然の家で「自立・交流・体験」をテーマに1泊2日の楽しいひと時を過ごしませんか?

日時 平成30年8月8日(水) 午前12時30分 集合
平成30年8月9日(木) 午後1時00分 解散

対象者 特別支援学校等に通う市内在住の児童・生徒とその保護者
市内在住の身体障害者手帳または療育手帳をお持ちの方とその保護者

定員 30名程度(原則親子での参加をお願いします。)※定員になり次第締切

場所 茨城県立白浜少年自然の家
〒311-3823 行方市白浜1466番地 ☎0299-73-2345

内容 レクリエーションや花火、野外炊飯等の体験をします。また、保護者向けに社会福祉法人二十一世紀会の樋口宗治理事長による講演会も予定しております。

参加費 参加者 2,500円(小・中学生 1,500円) 保護者 2,500円

申込方法 平成30年6月15日(金)までに電話にてご連絡ください。後日申込書等の必要書類を郵送いたします。



この事業は赤い羽根共同募金配分金により実施しております。



行方市善意銀行

平成30年2月1日から4月30日までに善意をおよせいただいた方々をご紹介します。皆様からの善意は行方市のさまざまな福祉活動に使わせていただいております。

皆様からの温かいご寄付に心より感謝申し上げます。

皆様からの寄付金・預託金 (順不同・敬称略)

寄付金

預託者名	金額(円)	指定先
齋藤 紀夫	20,000	無指定
掛田 定吉	20,000	無指定
六笠 高明	20,000	無指定
柳町 茂	20,000	無指定
果樹 大崎 秀子	50,000	無指定
額賀 利夫	10,000	無指定
麻生高等学校生徒会	18,113	無指定
JAなめがた青年部	49,454	無指定
大原 一美	30,000	無指定
なめがた創生会	50,000	無指定
戸大建設工業株式会社	25,000	無指定
なめがた湖魔女委員会	12,945	無指定
匿名 名	17,000	無指定

物品寄付

預託者名	預託品	指定先
谷田川 和美	未使用衣類・下着	訪問介護事業所
大場紙器工業(株)	ティッシュペーパー 100ヶ入×10箱	無指定
匿名	シルバーカー/4点	無指定
匿名	米 1.5俵	給食サービス事業



麻生高等学校生徒会

広報委員

委員長	代々城千尋	委員	熊谷 一男
副委員長	森田 幸雄		渋谷 節夫
委員	磯山 正子		菅谷 京子
	小貫 敏子		新堀 文江
	漢那 浩子		横田 照実

在宅言語リハビリ アドバイス事業

こんなお悩みありませんか？

食事が飲み込みづらい、飲み込みに時間がかかる
「話す」「聞く」「書く」「読む」が
しづらい

ケガや病気、障害の影響により、嚥下やことばによるコミュニケーションに不便を感じている方を対象に、言語聴覚士による定期的な訪問活動を行っています。



健康的な在宅生活の維持の為、相談してみませんか？

実施予定日 (毎月1回)

6月18日 (月)	11月19日 (月)
7月 9日 (月)	12月10日 (月)
8月 6日 (月)	1月21日 (月)
9月 3日 (月)	2月18日 (月)
10月15日 (月)	3月18日 (月)

対象者 行方市内在住の方

申込・お問合せ

0299 (36) 2020 在宅福祉係まで

この号が発行される6月、私達の周りは緑であふれ行方の豊かな自然を大いに満喫!!である。でも、足元に目をやれば草・草・草、皆さんどうしてますか。年はとるばかり思うようにはいきません。

昨年の5月待っていた山羊がきました。メイと名付けた。メイ・メイ鳴きながら寄ってくる。犬達とも仲よくして可愛い!草を食べる。新芽も食べる。何でも食べる。スイカの皮は大好きだ。時にはお腹もこわす。水は飲まない。10月には赤ちゃんが生まれるらしい、楽しみがあるのはいいですね。

相変わらず私の周りは緑で一杯だ。磯山正子

編集後記

視覚障害など目の不自由な方へ朗読ボランティアの方が朗読した「社協広報紙 あおぞら」や「市報なめがた」をお届けしています。

希望される方は行方市社会福祉協議会へお申込みください。